

# 古高松コミュニティ協議会 広報誌

文化祭特集  
(6~7面)



優美な演奏で文化祭開幕を飾った前夜祭、国際交流のタベ「劉飛 二胡コンサート」(屋外広場)

現在、高松市は、新・総合計画の中で、参加・協働で進めるコミュニティを軸としたまちづくりをはかるため、地域コミュニティの自立・活性化の施策を検討中ですが、私たちはすでに地域の問題、課題を自ら解決するよう、「古高松地区コミュニティプラン」十九年度基本目標を、四つのまちづくり方針にかかげ「安全安心のまちづくり」の実現を目指しています。

また、施設の利用と環境についても、会議室の常設による各種団体の活動計画の推進、ホールの分割利用による生涯学習の活性化、コミュニティスペースの活用等についてもソーラー・パネルの実用開始や、空調設備の充実等利用・管理環境も整備されました。

さらに十九年度からは、地区コミュニティ協議会がセンターの指定管理者となり、従来の「管理委託」から「管理業務履行」をになうようになりました。

このように、地域コミュニティ活動は、少しずつ変革をとげつつありますが、これらを一つひとつ乗り越えて、コミュニティの基盤を強固なものにしたいと考えま



古高松コミュニティ協議会  
会長 加藤直之

コミュニティ基盤の強化を

# 東部運動公園25年完成を目指す



対話集会で発言する大西市長（大ホール）

これに対し大西市長は、市側からそれぞれについて答弁がありました。特に地域の関心の高い東部運動公園については、「平

## 一 高齢者の避難場所確保



「元気なお年寄り、高齢者の住みやすいまちづくりを目指して、ハザードマップを作成して

ました。これに対し大西市長は、市側からそれぞれについて答弁がありました。特に地域の関心の高い東

部運動公園については、「平成二十五年完成を目指す」とあります。意見交換では、①コミュニティセンターの駐輪・駐車場の拡充、整備②東部運動公園の整備③節水対策として各地区に井戸掘削を④新川への汚水放流対策⑤高齢者の避難場所確保⑥屋島の観光振興⑦市民病院の移転問題と災害時の患者受け入れなどについての発言がありました。

## 一 新川への下水処理水の排水対策

大西秀人高松市長と地域住民が将来のまちづくりや市政全般について意見を交わす「高松・まちづくりふれあいトーク～市民と市長の対話集会」が、八月十七日午後七時から古高松コミュニティセンター大ホールで開かれました。

この集会は市内二十五地区で催されたもので、この日は、大西市長はじめ市幹部、地元からは自ら効果的に推進したい。市民の意見を新しい総合計画に取り入れ、今後のまちづくりの指針にして、すべての市民が誇りを持てる高市を目指したい」とあります。

市側から新年度にスタートする新総合計画基本構想案の概要について説明がありました。

意見交換では、①コミュニティセンターの駐輪・駐車場の拡充、整備②東部運動公園の整備③節水対策として各地区に井戸掘削を④新川への汚水放流対策⑤高齢者の避難場所確保⑥屋島の観光振興⑦市民病院の移転問題と災害時の患者受け入れなどについての発言がありました。

## 一 市民と市長の対話集会開く

# 高松・まちづくりふれあいトーク

いるので、これに基づき今一度安心できる対策を検討したい

成二十五年完成を目指す。スポーツ広場など市民のスポーツ拠点として整備している」との方針を明らかにしました。

まず、大西市長が「合併後の中核都市としてのまちづくりは、住民主体で住民の意見を反映させな

いが、順次整備し活動を支援したい」

「合併効果として屋島と源平の里を一体的に盛り上げていきたい。交通アクセスについては本年度中に基本計画を策定したい」

そのほかの主なやりとり（要旨）

は次の通り。

## 一 市東部地区、屋島の観光振興

「合併効果として屋島と源平の里を一体的に盛り上げていきたい。交通アクセスについては本年度中に基本計画を策定したい」

「検討委で香川、塩江病院と併せて検討しており、香川病院と統合し移転の方向だが具体的には決まっていない。災害時に医師会と協定し課題を検討する。実情にあわせスムーズにいくようになたい」

## 一 コミュニティセンターの駐輪・駐車場の拡充、整備

「市全域の問題ですぐには難し

いが、順次整備し活動を支援した

い」

## 一 市民病院の移転問題と災害時の患者受け入れ

「市全域の問題ですぐには難し

いが、順次整備し活動を支援した

い」

## 一 節水対策として各地区に井戸掘削を

「市全域の問題ですぐには難し

いが、順次整備し活動を支援した

い」

## 玄関前に時計塔

高松源平ライオンズクラブの寄贈によるソーラ式電波時計で、昨年十二月二十六日、引き渡し式が行われました。これに対し

てコミュニケーション協議会より感謝状を贈りました。



# 生き生きと無い学びふれまい

長寿おめでとう：「敬老の日」  
午前九時から岡内副市長はじめ、来賓らを迎えて式典が行われた後、アトランションがありました。保育所、幼稚園児、小学校児童や地元の長寿おめでとう。

## 長寿祝い地区敬老会

域同好会の人たちの出演で、合唱や演奏、舞踊などを次々に披露し、楽しい一時を過ごしました。古高松地区の七十五歳以上の高齢者は一九七五人。このうち女性が一二四人、男性は七六一人とあります。



すばらしい演奏と歌声を楽しんだタグレコンサート

## 美しいハーモニー聴衆魅了 盛大に「タグレコンサートINみんな」

夏の夕暮れに楽しい音楽を：

古高松南コミュニティセンター恒例の「タグレコンサート I

（土）午後六時から同センター二階ホールで開かれました。

N みなみ」が、八月二十六日

フルートアンサンブルによる「千

の風になつて」や、オカリナアソロ、木管アンサンブルによる愛のテーマ「ニューシネマバラダイス」などすばらしい演奏が次々披露され、聴衆を魅了しました。最後に古高松南小学校合唱部の四、六年生が、太田陽子先生の指揮で「世界がひとつになるまで」などを合唱、美しいハーモニーに盛んな拍手が送られました。

会場には納涼を兼ねて地域の人たちが集まり、すばらしい演奏と歌声に楽しい一時を過ごしました。

## 高齢者体力づくりモデル地区に指定 生涯学習振興基金助成も 一地区老人ク連合会



ピンボーリング(手前)、輪投げを披露する老人ク会員

午前九時から岡内副市長はじめ、来賓らを迎えて式典が行われた後、アトランションがありました。保育所、幼稚園児、小学校児童や地元の長寿おめでとう。

長寿おめでとう：「敬老の日」  
午前九時から岡内副市長はじめ、来賓らを迎えて式典が行われた後、アトランションがありました。保育所、幼稚園児、小学校児童や地元の長寿おめでとう。

長寿おめでとう：「敬老の日」  
午前九時から岡内副市長はじめ、来賓らを迎えて式典が行われた後、アトランションがありました。保育所、幼稚園児、小学校児童や地元の長寿おめでとう。

## 備えあれば憂いなし！ 地区自主防災会で訓練



各地区の自主防災会リーダーらが参加し、高松東消防署員から消火注水訓練や担架などによる搬送、人工呼吸など救護急救訓練を受けました。本番さながらの訓練に剣な表情でした。また古高松センターでは、九月七日防災学習を開催し写真＝山本高松東消防署予防係長から地震対策について受講しました。南センターでは、九月二十日、防災講演会を開き、乃田県防災局防災指導監が「日ごろから災害に備えましょう」のテーマで講演しました。

古高松地区老人クラブ連合会（藤本豊会長、八四〇人）の古高松コミュニティセンター高齢者教室では、「健康づくり、生きがいを求めて」仲間づくり、生きがいを求めて講話や実技を通じて学習しています。本年度は、健康講話などの受講形態から一步踏み込み、体力づくりを中心に高齢者向けスポーツや体力測定を通じて、自分区にも指定され、九月二十八日に第一回体力測定会を開きました。

また、香川銀行高齢者生涯学習振興基金の本年度助成金を受け、ピンボーリング一セツト、輪投げ四台を購入。十月五日、センターホールでお披露目しました。

古高松地区老人クラブ連合会（藤本豊会長、八四〇人）の古高松コミュニティセンター高齢者教室では、「健康づくり、生きがいを求めて」仲間づくり、生きがいを求めて講話や実技を通じて学習しています。本年度は、健康講話などの受講形態から一步踏み込み、体力づくりを中心に高齢者向けスポーツや体力測定を通じて、自分区にも指定され、九月二十八日に第一回体力測定会を開きました。

また、香川銀行高齢者生涯学習振興基金の本年度助成金を受け、ピンボーリング一セツト、輪投げ四台を購入。十月五日、センターホールでお披露目しました。

古高松地区老人クラブ連合会（藤本豊会長、八四〇人）の古高松コミュニティセンター高齢者教室では、「健康づくり、生きがいを求めて」仲間づくり、生きがいを求めて講話や実技を通じて学習しています。本年度は、健康講話などの受講形態から一步踏み込み、体力づくりを中心に高齢者向けスポーツや体力測定を通じて、自分区にも指定され、九月二十八日に第一回体力測定会を開きました。

# 楽しくセンターライフ講座・同好会活動

私たち「古高松スボーツダンス同好会」は、コミュニティセンターのホールをお借りして第一～第四水曜日の午後一時半から二時間練習をしております。

以前の公民館時代を含めて二十余年の歴史ある同好会ですが、健康増進、会員の融和、技術の向上をモットーに今日もよい汗を流しました。

ご多分に漏れず高齢進行で、会員数の維持に頭を痛めるところでですが、明るく広々としたホールで

# 同好会あれこれ

# 「古高松スポーツダンス同好会」 上 枝 欣 一

音楽に合わせて体を動かすことは、単に肉体的健康のみならずストレス発散にもなり、心身両面の健康増進になります。

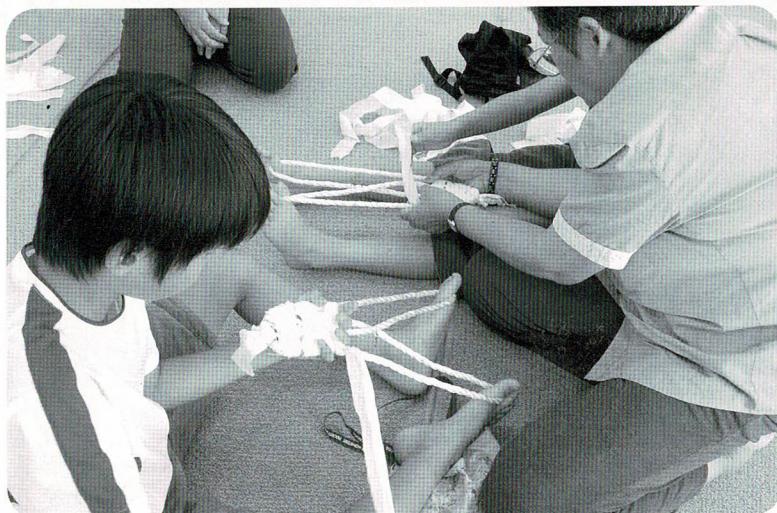
コミニュニティセンターは、エンターテインメントからロビーを経てホールまで明るくゆとりがあり、ホールでのびのびと練習出来ることに大いに感謝しております。

ただ、利用者側として欲を言えば、駐車場の狭さに不便を感じることが最大の難点です。

# 自販機で地域の 最新ニュース

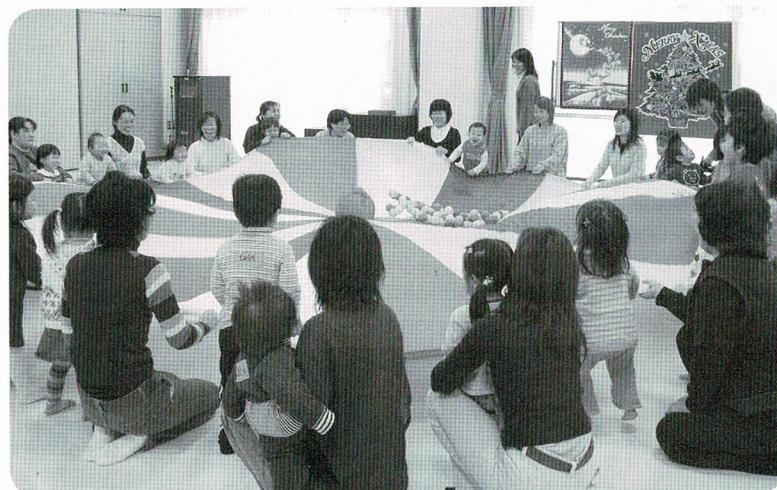
古高松コミュニティセンター(高松町)内に設置している「災害対応型自販機」の電光掲示板に9月から時事通信社のニュースのほか、地域情報の掲示を始めました。情報表示の希望があればセンターまでご一報ください。

この自販機は、大地震などでライフラインが被害を受けた場合、自治体の要請で清涼飲料水を無償で住民に提供できるシステム。電光掲示板は、災害時には避難場所、災害情報などがリアルタイムで確認できます。



## 布ぞうり作り

いらなくなつた布を利用したぞうり作り。地区内の方が指導。



あいあい教室・ひまわり教室

お母さんと就園前の子どもとの楽しい教室。手遊びや親子体操を通じて親子のふれあいと参加者相互の親睦も。



絵手紙教室

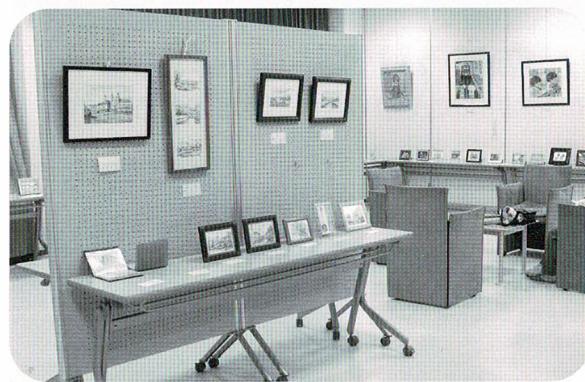
季節の折々をはがき絵で表現します。

# 学習・活動の成果 地域へ発信

## 作品展



力作に見入る参観者(古高松南センター)

くつろぎスペースとクラシックBGMの  
はがき絵・絵画コーナー(古高松センター)掘り出し物は…  
初めて開催したフリーマーケット(古高松センター)

## バナナマークット



健康に良いお菓子の試食コーナー(古高松センター)

文化・芸術の秋”を飾つて恒例の地区文化祭が、十月二十五日(金)夕の前夜祭で開幕二十八日まで古高松、古高松南両コミュニティセンターで開かれ、多数の来場者で賑わいました。

この文化祭は、コミュニティセンターで学習や各種活動に励んでいるサークルが、一年間の成果を公開するとともに、地域の人々の交流と親睦を深めて心豊かなふる来場者で賑わいました。

## 文化祭 特集

両会場では、作品展はじめ舞踊、カラオケなどの学習発表会、健康講演会、健康コーナーや、毎回人気のバザーも開店。今年はフリー

マーケットが初登場して賑わいま

した。また、前夜祭も初の試みで

「国際交流の夕べ」として中国江

西省出身の二胡奏者・劉飛(りゆうひ)

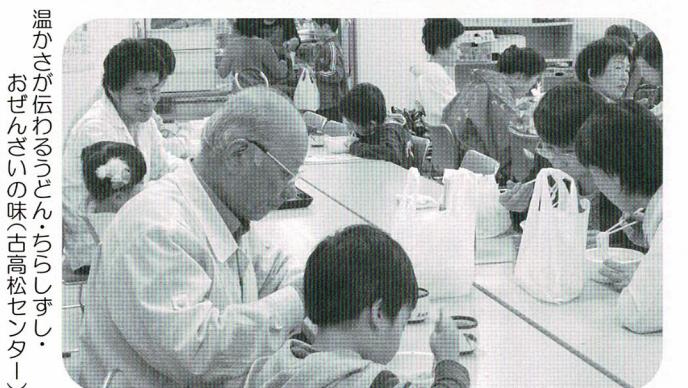
さんによる二胡コンサート

があり、「千の風にのつて」「浜

千鳥」など心にしみる音色が聴衆

を魅了していました。

## お茶席

お点前を学ぶ、  
ちびっ子たち  
(古高松南センター)温かさが伝わるうどん・ちらしずし、  
おせんさいの味(古高松センター)

# 心豊かな「ふるさと」を目指して

## 講演会 ブュニア化



「後期高齢者について」語る朝日俊彦先生(古高松センター)

## 学習発表会 一文化



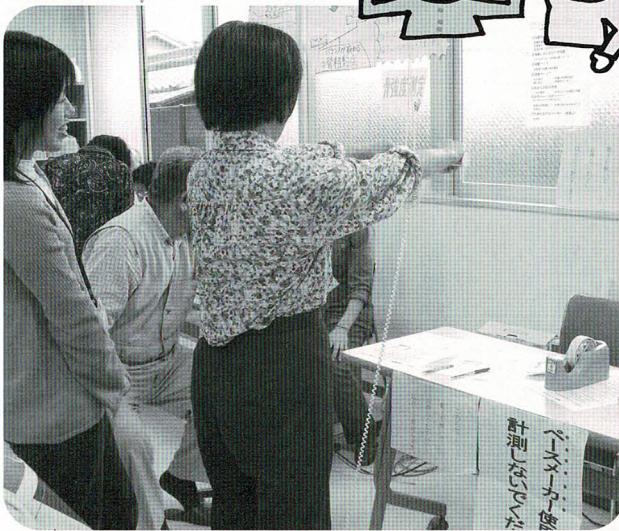
かわいいバレリーナの熱演(古高松センター)

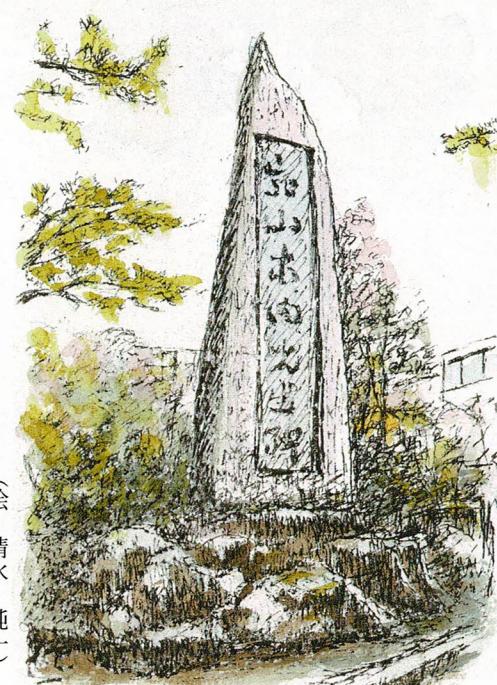
## 会場に広がる交流 親睦の輪



参観者も一緒に…3B体操(古高松南センター)

## 健康コーナー





(絵・清水 純二)

## ふるさと点描

### 「龍山木内先生碑」 (高松町、古高松小学校校庭)

今年、創立百年を迎えた古高松小学校。多くの先輩らによつて受け継がれた歴史と伝統の校史を、じつと温かく見守っているのがこの顕彰碑でしょう。校庭の西北隅、通用門に隣接し、古木に囲まれるようにして建っています。高さ5.58m、幅1.35m、厚さは55センチあり、昭和八年(一九三三)十一月二十六日、除幕式が行われました。碑の文字は書道家で第三代古高松小学校長の宮宇地養造氏の筆によるものです。

龍山は、郷土で活躍した勤王家、さらに寺子屋を開設して子弟の教育にも力を入れたことで知られています。文化八八年(一八一一)円座町の文化

橋道寧の次男として生まれた。天性明敏で進取の気に富んでいたといわれ、十代で高松藩で儒らに経史、書經などを学んだ。二十一歳の時(天保二年)、高松町の木内茂邦家に入り、農事の合間に多くの著述を残しました。

幕末、二十五歳の時に書かれた「撃攘録」は尊王の義気を鼓吹して、頼山陽の「日本外史」に並ぶとさえいわれた。また、親交のある志士、同士の通

## \*コムニティ 協力金にご協力を

古高松地区コミュニティ協議会は、本年度から自主的管理運営の一環としてコミュニティセンターを利用している同好会から一人当たり年間五百円のコミュニティ協力金を徴収しています。ご協力をお願いします。

## 編集後記

センター開館から一年余り、指定管理制度のスタートで、地域に応じた質の高いサービス提供も。加藤会長の巻頭言に注目。文化祭を特集で再現。ふるさとの心意気が伝わってきます。(編)



夜空を彩りフィナーレを飾る花火

舞台では古高松、古高松南面コミュニティセンターの同好会メンバーが出演し、大正琴、舞踊、民謡、カラオケなど日頃の活動成果を披露したほか、ふるさと学習クイズ、のど自慢大会、かわいい園児のエイサー太鼓、勇壮なふれあい太鼓、ジャズ演奏など多彩なプログラムが繰り広げられました。また、各種団体による夜店やバザーも開店、浴衣がけの家族すれらがどつと繰り出し大賑わいしました。そして百数十発の打ち上げ花火が夜空を彩りフィナーレを飾りました。

# たがるふれあい・交流 旧高松城まつり賑やか



ちびっ子らに大人気のバザーコーナー